



平成30年12月27日

第60回 稚内開発建設部入札監視委員会の 審議概要について

平成30年10月23日（火）に開催された、第60回稚内開発建設部入札監視委員会の審議概要を、別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部

技術管理官 かみかわ こういち 上川 功一 電話 0162-33-1004

契約課 契約課長 かわさき よしひろ 川崎 義宏 電話 0162-33-1062



稚内開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/wk/>

稚内開発建設部公式 Twitter アカウント @mlit_hkd_wk

第60回稚内開発建設部入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成30年10月23日(火) 稚内地方合同庁舎3階共用第1会議室	
委員	・今村光 壹(稚内商工会議所副会頭) ・小門史子(北彩都法律事務所弁護士) ・斉藤吉 広(稚内北星学園大学学長 : 委員長) ・松井 眞 実(松井会計事務所長) ・南 満 幸(稚内北星学園大学教授) (五十音順、敬称略)	
審議対象期間	平成30年1月1日 ~ 平成30年3月31日	
議事	1 工事・建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品製造等に係る入札・契約手続の運用状況等に関する報告 2 審議対象工事等抽出結果に係る当番委員の報告 3 抽出案件に係る一般競争等参加資格の設定の理由、経緯等に関する説明及び審議	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		
意見・質問	回 答	
【工事・建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品製造等に係る入札・契約手続の運用状況等に関する報告】 特に意見・質問なし 【抽出案件に係る一般競争等参加資格の設定の理由、経緯等に関する説明及び審議】 (東宗谷地区 下頓別地域区画整理工事)(一般競争) 競争参加資格に格付特例とあるが、これは会社が希望すれば1ランク下げた格付となることだと思うが、その場合のメリットは。 総合評価方式において設定されている各項目毎の評価点については、配点基準が示されており、例えば技術者の経験等の評価であれば参加者もこういった点数が付くかが予め分かると思うが、参加者自身がどう評価されるか分からないものはどれか。	上位等級の格付が行われた場合、上位クラスの子会社と競争することとなり受注機会を著しく失うことにつながりかねず、結果として企業等の経営を圧迫する等の悪影響も想定される。このため、一定の条件を満たす場合に限り、希望により直近下位の等級に格付することができる扱いとしており、これによりこれまでと同じ競争環境の中で企業活動を行っていくことができるメリットがある。 「施工監理能力の確認」の評価である。	

この工事では、「施工監理能力の確認」の配点は合計68点満点中10点であるが、「施工監理能力の確認」の配点としては低い方か。

どういう条件を満たせば「優」で10点になるのか。基準などはあるのか。

その判定は複数の者で決めているのか。

競争参加資格において、同種工事の実績を求めているが、実績を積み重ねなければ入札に参加できない、入札に参加できなければ実績が積み重ねないということになってしまうのではないかと思うが、新しい会社等はどうやって参入するのか。

(香深港北護岸改良その他工事)(一般競争)

総合評価における参加者の評価点は、1年間は工事によって差があまり出ないものなのか。

同じ日の入札で、同じ者が2つ以上の工事を落札することは制度的に可能か。

(鴛泊港(鬼脇港区)南防波堤改良工事)(一般競争)

この工事と先ほど香深港北護岸改良その他工事は、同じ日の入札であるが、両方の案件に参加している参加者の企業評価点が違うのはなぜか。評価項目における「作業船の保有状況」については、同じ業者なのに点数が違っている。

先ほど香深港北護岸改良その他工事と比べると工期が若干長いのは、若手技術者評価型を採用したからなのか、それとも難しい工事だからなのか。

「施工監理能力の確認」に関する配点は、施工計画重視型では20点の配点としているものもあり、10点というのは配点の中では最も低いものである。

工事によって評価テーマを決めており、提出された内容が施工効率や品質の向上につながるものであれば高評価となる。

3人程度の複数名で評価を行い、その後、事業担当次長を委員長とする技術審査会で評価内容審査を行った後、部長を委員長とする入札・契約手続運営委員会で評価の確認を行っている。

例えば若手技術者育成型のように配置予定技術者に同種・類似工事の実績を求めないとする工事もあるので、そういった工事を切り口に入札に参加してくることも考えられる。また、同種・類似工事の条件を付す場合は、参加可能者数がどの程度いるのかといったことも検証した上で設定するようにしている。

例えば、施工監理能力の確認に対する評価は、工事毎に設定される内容が異なるほか、配置予定技術者の評価についても、申請する技術者が異なれば評価は変わってくる。また、企業評価において、作業船の保有状況、登録基幹技能者の配置の有無といった評価項目は、工事の内容により設定されており、こういった点からも評価点は1年間同じというのではなく、工事によって異なる。

申請している配置予定技術者が重複していなければ、落札することは可能である。

「作業船の保有状況」の評価は、工事に自社保有船を使用する場合には加点されるが、工事箇所や他の受注工事の施工状況によって自社の保有船を使用できない場合もあるため、同じ業者でも点数が異なる場合がある。

工期の設定については、工事内容や作業ボリュームを精査して設定しており、若手技術者評価型を採用したからということではない。

工期について、入札説明書には労働力確保のために余裕を持つと書いてあり、近頃の労働力不足に対応したことだと思うが、これは離島の工事だからということなのか、それとも業界全体の労働者不足を考慮して工期を若干長くとするということにしているのか。

受注者が週休2日を行うことにより、受注者側にはコストもかかると思うが、そのコストの負担に対してどのように対応するのか。

(浜頓別道路事務所管内 道路保全資料作成業務)(通常指名競争)

コンサル業務を行う業者に得意分野はあるのか。

(除雪トラック用ピントルフック外購入取付)(一般競争)

応札者が1社なのは、このような業務を行える業者が少ないからなのか。

なぜ、1社しか参加しなかったのか。

離島の工事だからということではない。余裕期間を設定した工期については、労働者確保を目的とするほかに、余裕期間内であれば受注者が着手時期を任意に設定することができることから、施工中工事の配置予定技術者であっても新規工事に配置することができ、入札に参加しやすくなるという狙いもある。また、働き方改革ということからも、週休2日も考慮した工期設定を行っている。

この工事は、受注者希望型の週休2日試行工事であり、受注者が週休2日を希望した場合には、発注者が実施状況の確認を行い、達成できたと認められれば、契約変更により間接工事費を一定程度割り増しして支払いを行う。

業者によって、道路、港湾、農業など得意分野を持っているところはあるが、規模の大きな業者であれば、複数の分野を得意としているところもある。

宗谷管内で車両整備が出来る業者は23社あり、その中で大型車両を取り扱える業者、具体的には旭川の運輸支局に登録している認証工場のうち5社が入札参加可能であると考えている。

1社しか参加しなかった理由は分からない。ピントルフックに関しては、製作メーカーの指定工場が各地域にあり、指定工場以外の者についても製品の仕入れは可能で取付けを行うことは可能であるが、今回の参加者は指定工場となっている者であった。

抽出案件の入札・契約情報

【工事】

工事名	入札方式	工事区分	競争参加資格を確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
東宗谷地区 下頓別地域区画整理工事	一般競争入札方式	一般土木	5社	5社	H30.3.8	(株)寺沢組	141,372	95.09%	
香深港北護岸改良その他工事	一般競争入札方式	一般土木	3社	3社	H30.3.28	藤建設(株)	166,320	94.17%	
鴛泊港(鬼脇港区)南防波堤改良工事	一般競争入札方式	一般土木	4社	4社	H30.3.28	(株)中田組	163,080	93.37%	

【業務】

業務名	入札方式	業種区分	指名業者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
浜頓別道路事務所管内 道路保全資料作成業務	通常指名競争入札方式	土木関係 コンサルタント	10社	10社	H30.2.1	北陽測量設計(株)	7,290	91.22%	

【役務の提供等及び物品の製造等】

業務名	入札方式	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
除雪トラック用ピントルフック外購入取付	一般競争入札方式	物品の販売又は役務の提供等	1社	1社	H30.1.11	吉川自動車工業(株)	7,271	96.62%	